

第二次下野市総合計画

前期基本計画（素案）について

第1章 序論

第1節 基本計画策定の趣旨	1
第2節 基本計画の期間	1
第3節 基本計画の構成	1

第2章 施策体系

第1節 施策体系図	3
第2節 基本施策	4

第3章 しもつけ重点プロジェクト

第1節 しもつけ重点プロジェクトの位置付け	6
第2節 しもつけ重点プロジェクト	7

第4章 施策概要

第1章 序論

第1節 基本計画策定の趣旨

第二次下野市総合計画基本構想に示す将来像やまちづくりの目標を具現化するため、今後5年間に実施する施策及び事業等を体系的に示すとともに、主要な課題を明らかにし、重点的に実施すべき事業等を示すため、「基本計画」を策定するものとします。

第2節 基本計画の期間

基本計画は、基本構想期間を2期に分けた前期の5か年である平成28年度から平成32年度を計画期間とします。

第3節 基本計画の構成

「基本計画」は基本構想に定めた将来像「(仮) 幸せな市民と 人々が集う 文化交流都市」の実現のため、今後取り組む具体的な施策の内容を定めるものです。

基本計画「第2章 施策体系」では、計画期間における取組の基本となる施策体系図と基本構想の施策の大綱で定めた6つの基本目標に基づく基本施策を記載し、「第3章 しもつけ重点プロジェクト」では、計画期間における重点的かつ戦略的に実施すべき事業を明確にします。

「第4章 施策概要」では、「基本施策」ごとに「現状と課題」、「基本方針」、「分野別指標」、「満足度」「施策・事業内容」を掲載します。

各項目については、以下の内容で解説しています。

- ◆現状と課題・・・各施策分野に関する下野市の現状と課題を記載します。
- ◆基本方針・・・市の今後の取組について、各施策分野の趣旨や目指すべき目標や成果などを中心に記載します。
- ◆分野別指標・・・基本施策達成のための目標値を設定します。
- ◆満足度・・・各施策の実施を通じて、市民意識調査による満足度の維持・向上を図ることを記載します。
- ◆施策・事業内容・・・各基本施策分野における具体的な施策や事業等を掲載します。

※満足度の考え方

満足度は、平成22年度及び平成26年度に行った市民意識調査結果に基づき、5つのランクに整理しています。

- | |
|-------------------------|
| 5つ星 (★★★★★) : 満足度が高い |
| 4つ星 (★★★★☆) : 満足度がやや高い |
| 3つ星 (★★★☆☆) : どちらともいえない |
| 2つ星 (★★☆☆☆) : 満足度がやや低い |
| 1つ星 (★☆☆☆☆) : 満足度が低い |

基本計画では、各施策の現状の満足度を5つのランクで標記した上で、将来の目標値を一定のルールにより設定しています。

平成26年度実施の市民意識調査結果により、市民満足度の低い施策（★の数が1つ又は2つ）及び満足度がある程度得られている施策（★の数が3つ又は4つ）で重要度の高い施策については、満足度の1ランク向上を目指し、その他の施策については満足度の維持を目指します。

なお、市民の満足度を定期的に把握するため、今後とも市民意識調査を定期的に行い、市民の意向を踏まえた施策展開を図っていきます。

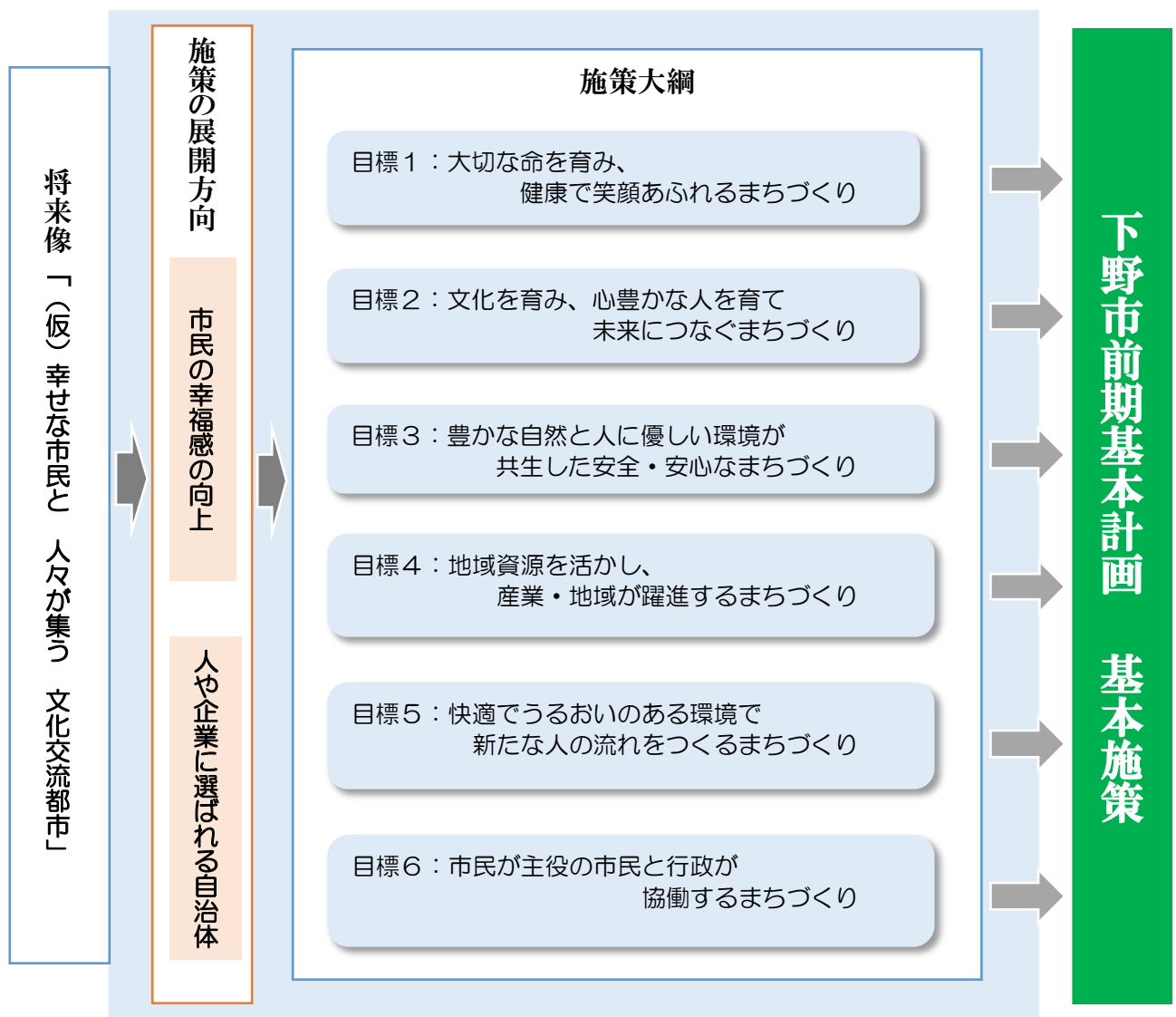
第2章 施策体系

第1節 施策体系図

基本構想では、下野市の目指す将来像「(仮) 幸せな市民と 人々が集う 文化交流都市」の実現を目指し、今後の施策の展開方向を「市民の幸福度の向上」「人や企業に選ばれた自治体」と定め、それを踏まえ、施策大綱では分野別に基本目標を掲げました。

この施策大綱を受け、前期基本計画で実施していく基本施策を明らかにします。

第二次下野市総合計画基本構想



第2節 基本施策

目標1：大切な命を育み、健康で笑顔あふれるまちづくり

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- (5)

目標2：文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- (5)

目標3：豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- (5)

目標4：地域資源を活かし、産業・地域が躍進するまちづくり

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- (5)

目標5：快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- (5)

目標6：市民が主役の市民と行政が協働するまちづくり

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- (5)

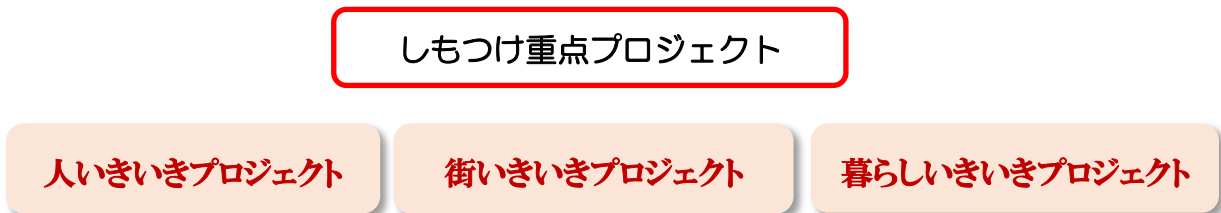
第3章 しもつけ重点プロジェクト

第1節 しもつけ重点プロジェクトの位置付け

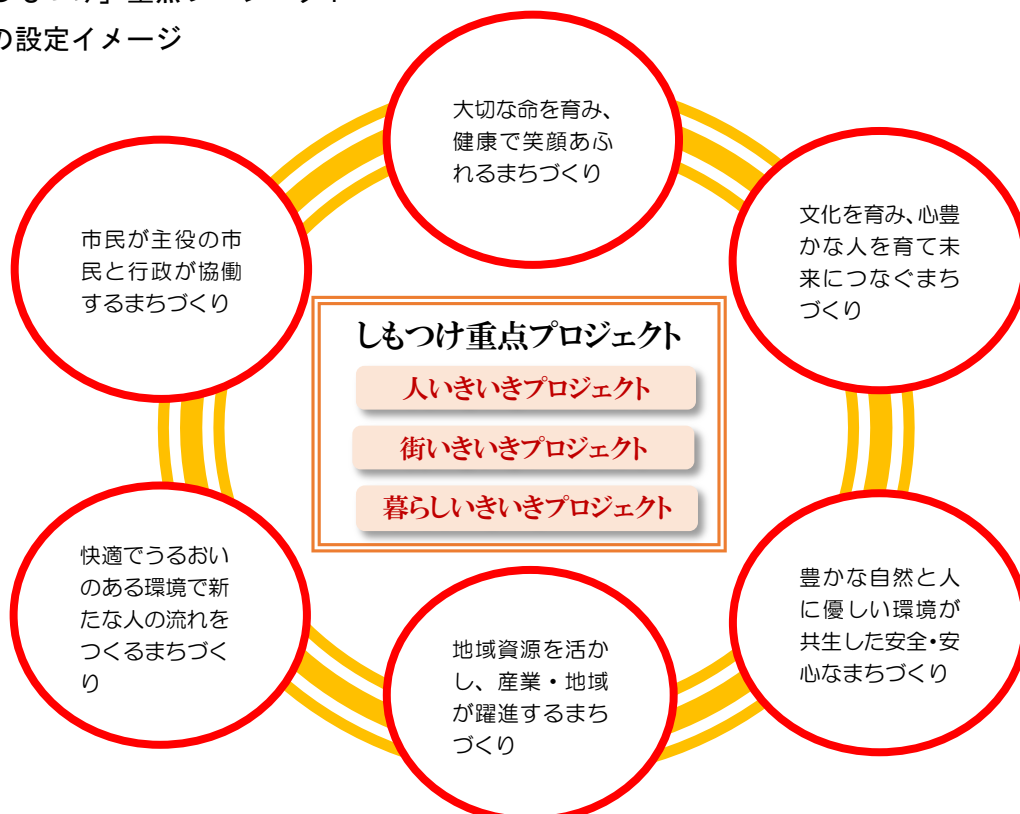
「しもつけ重点プロジェクト」は、時代の潮流や本市の特色などを踏まえ、基本構想で掲げた将来像「(仮) 幸せな市民と 人々が集う 文化交流都市」をより確実に、より効果的に実現していくために、今後5年間で特に重点的かつ戦略的に取り組むべきプロジェクトとして位置付け、その達成のために具体的な取組を明確にするものです。

少子高齢化が進展する中、本市においても地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある地域社会を維持していく「地方創生」の取組が更に必要となっています。

基本構想の「下野市の理想的な姿」に掲げる「充実した医療、自然災害への安全性、豊かな自然環境を活かし、市民の幸福感が高まるまち」と「地域の資源を活かし、地域の魅力向上と雇用の拡大につなげ、人や企業に選ばれるまち」の実現に向けて、6つの基本目標に基づく基本計画における施策・事業の中でも特に優先度が高く、分野横断的に取り組むべき施策・事業を次の3つのプロジェクトとして取りまとめ、夢をかたちに更なる発展へのステップアップを図り、住みよさ県内ナンバー1を目指し、重点的かつ戦略的な展開を図ります。



■しもつけ」重点プロジェクト の設定イメージ



第2節 しもつけ重点プロジェクト

人いきいきプロジェクト

【プロジェクトの考え方】

市民が「幸せ」であるために重要だと思ふことの上に「健康」や「家族」があげられています。本市の全国トップクラスの医療環境を活かして、子どもから高齢者まで健康な生活を送ることができる施策の展開を図るとともに、人・家族が安心して生活できる福祉の充実を目指し、子どもを産み育てやすく、高齢者・障がい者にやさしいまちづくりを進めるプロジェクトを展開します。

また、生涯にわたる学びの場や機会の提供、スポーツ・文化活動のための施設の充実及び教育・学習環境の向上等を図り、いきいきと活力にあふれた多くの市民が集うプロジェクトを展開します。

【重点的な取組】

医療・福祉の充実

- 各種検診・予防接種等の更なる充実
- 救急医療体制の充実
- 少子化対策の拡充
- 子ども・子育てを支援する総合的なサービス・相談体制の充実
- 地域包括ケアシステムの構築

教育環境・施設等の充実

- 学習環境の充実に向けた施設整備
- 大松山運動公園のスポーツ拠点化整備
- ファミリー下野市民運動の充実
-
-

記載項目例

街いきいきプロジェクト

【プロジェクトの考え方】

本市の豊かな農畜産物や歴史・文化資源、道の駅を活用したシティセールスの取組を推進し、下野ブランドの魅力向上のための施策を展開するとともに、既存産業の活性化、魅力ある産業や雇用創出を図るため、人や企業に選ばれる産業環境づくりを促進するプロジェクトを展開し、交流人口を増やす取組を通して、まち全体の魅力向上を目指します。

また、活力にあふれた地域社会を創るため、本市の自治基本条例の理念である協働のまちづくりを推進し、地域の絆が強化され、市民がいいきいと活動するプロジェクトを展開します。

【重点的な取組】

創造性豊かなまちづくり

記載項目例

- 都市近郊型農業の推進（地産地消・6次産業化の推進）
- 農業生産基盤の整備
- 文化・歴史資源や「下野ブランド」を活用したシティーセールスの推進
- 産業振興計画の推進
- 企業連携協議会の設置

協働のまちづくりの推進

- 協働の指針の策定・推進
- 協働のまちづくり人材育成・サポート事業
- 男女共同参画推進条例・プランに基づく取組の推進
- 市民の一体感の醸成
-

暮らしいきいきプロジェクト

【プロジェクトの考え方】

自然災害が少ない本市においても、災害時に備えた体制の整備や市民が生涯安心して幸せに暮らすことができる生活環境づくりを推進するとともに、充実した交通基盤・地域医療、東京圏へのアクセスが容易な地理的優位性などを活かし、定住促進に向けたプロジェクトを展開します。

また、いきいきとした市民の暮らしを支えるため、その基盤となる行政サービスの充実に向けて、総合計画に基づく各種施策を着実に推進するとともに、創意工夫による行財政運営を引き続き推進します。

【重点的な取組】

安全・安心なまちづくり

記載項目例

- デマンドバス運行の充実・広域市町と連携した交通ネットワークの構築
- 防犯・防災体制の充実（消防団・自主防災組織の育成及び強化）
- 災害時応援協定等の拡充
- バリアフリー化の推進
-

創意工夫による行財政運営

- 広報・広聴の充実
- 公共施設の効率的な配置の検討
-
-
-